

君津市内の観光関連事業者の現状とニーズ

1. 調査概要
2. 調査結果
 - 2-1. 宿泊事業者
 - 2-2. 宿泊施設以外の事業者

第3節 君津市内の観光関連事業者の現状とニーズ

1. 調査概要

本調査は、市内の観光関連事業者の観光客の実態及び観光振興に関する今後の意向を把握することを目的として、宿泊事業者の他、飲食店やキャンプ場、ゴルフ場、観光農園等の体験型観光に取り組む可能性のある君津市内の事業者に対し、郵送によるアンケートを実施する。

図表 1 事業者郵送調査概要

項目	調査概要
調査日	[発送日]平成30年1月12日（金）～[締切日]平成30年1月26日（金）
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 郵送にて発送、事業者が希望する場合はメールにて送付。 調査票は業種により設問項目が大きく異なることから、宿泊事業者用とその他観光関連事業者用の2種類を用いる。
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊事業者、飲食店、ゴルフ場、観光農園等 体験型観光に取り組む可能性のある君津市内の184事業者 内訳は、宿泊事業者は旅館やキャンプ場含む37件 それ以外のその他観光関連事業者が147件
回収数（回収率）	<ul style="list-style-type: none"> 合計 76件（41.3%） 内訳は、宿泊事業者が16件（43.2%）、 その他観光関連事業者が60件（40.8%）
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 図表 2（宿泊事業者用）及び 図表 3（それ以外用）参照

図表 2 事業者郵送調査項目（宿泊事業者用）

N o	大項目	質問項目	回答形式
1	施設概要	業態	選択式・単一回答
2		客室数	記述式・数値回答
3		収容人数	記述式・数値回答
4	宿泊客の 現況	外国人宿泊客人数	記述式・数値回答
5		直近の外国人宿泊客の増減	選択式・単一回答
6		外国人宿泊客の国籍（地域くくり）	選択式・順位付け
7		観光客の割合	記述式・数値回答
8		観光客割合の増減	選択式・単一回答
9		同行者の形態	記述式・数値回答
10		同行者の形態の変化	選択式・複数回答
11		宿泊客の季節変動	記述式・数値回答
12	外国人宿 泊客への 対応	外国人宿泊客への対応内容とその具体的な内容	選択式・複数回答、 記述式
13		外国人宿泊客受け入れへの意向	選択式・単独回答
14	各施設の 課題	ビジネス推進上の課題	選択式・複数回答
15		目標・競合とする施設や事例	記述式
16	君津市の 観光につ いて	君津市の観光の課題	選択式・複数回答
17		清水溪流広場の影響	記述式
18		君津市の観光行政に望むこと	記述式
19		君津市の観光へのご意見	記述式

図表 3 事業者郵送調査項目（その他観光関連事業者用）

N o	大項目	質問項目	回答形式
1	来訪者の 現況	年間来訪者数	記述式・数値回答
2		市外からの来訪者の割合	記述式・数値回答
3		市外からの来訪者割合の増減	選択式・単一回答
4		外国人来訪者の割合	記述式・数値回答
5		外国人来訪者割合の増減	選択式・単一回答
6		来訪者の季節変動	記述式・数値回答
7	外国人来 訪者対応	外国人来訪者への対応内容とその具体的な内容	選択式・複数回答、 記述式
8	各施設の 課題	ビジネス推進上の課題	記述式
9		目標・競合とする施設や事例	記述式
10		今後の人材ニーズ	選択式・複数回答
11	君津市の 観光と観 光客受け 入れにつ いて	君津市の観光の課題	選択式・複数回答
12	観光と観 光客受け 入れにつ いて	観光客・外国人来訪者受け入れへの意向	選択式・単一回答
13		観光振興への取組意向（アピールしたい地域資源、取組 みたい内容）	記述式
14		清水溪流広場の影響	記述式
15		君津市（自治体）の観光行政に望むこと	記述式
16		君津市の観光へのご意見	記述式

※ビジネス主体を前提とした表現が多いため、寺社や観光案内所等に対しては別途説明メモ等で書きぶりへの補足を行った。

2. 調査結果

2-1. 宿泊事業者

(1) 施設概要

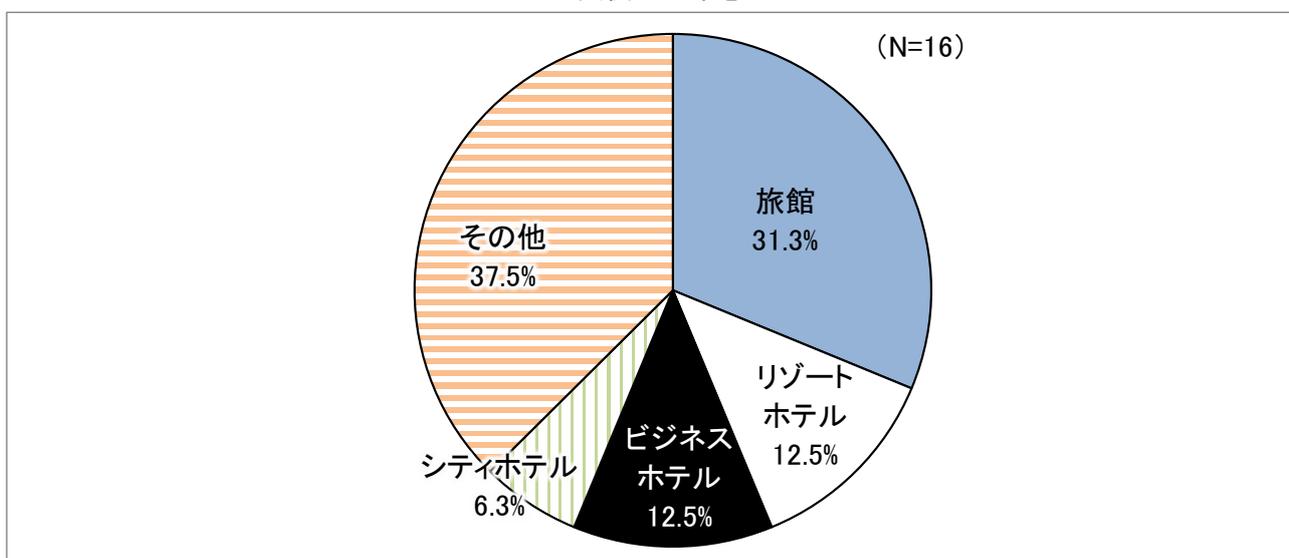
1) 業態

問 貴施設の業態として当てはまるものをお答え下さい。

回答者の宿泊施設の業態として、最も多いのは「旅館」で31.3%（5件）である。次いで「リゾートホテル」及び「ビジネスホテル」で同率の12.5%（2件）である。

「その他」の回答としては6件あり、全て「キャンプ場」、「オートキャンプ場」等の“キャンプ場”という回答である。

図表 4 業態

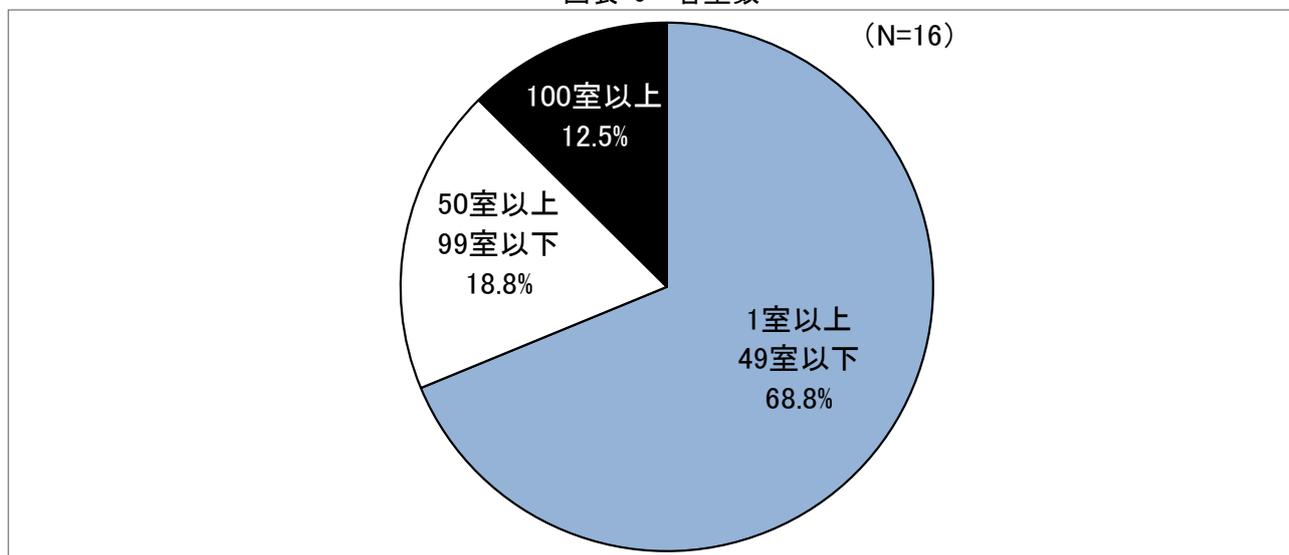


2) 客室数

問 貴施設の宿泊用客室数を教えて下さい。

宿泊用客室数として、最も多いのは「1室以上49室以下」で73.3%（11件）であり、小規模な宿泊施設が多くなっている。

図表 5 客室数

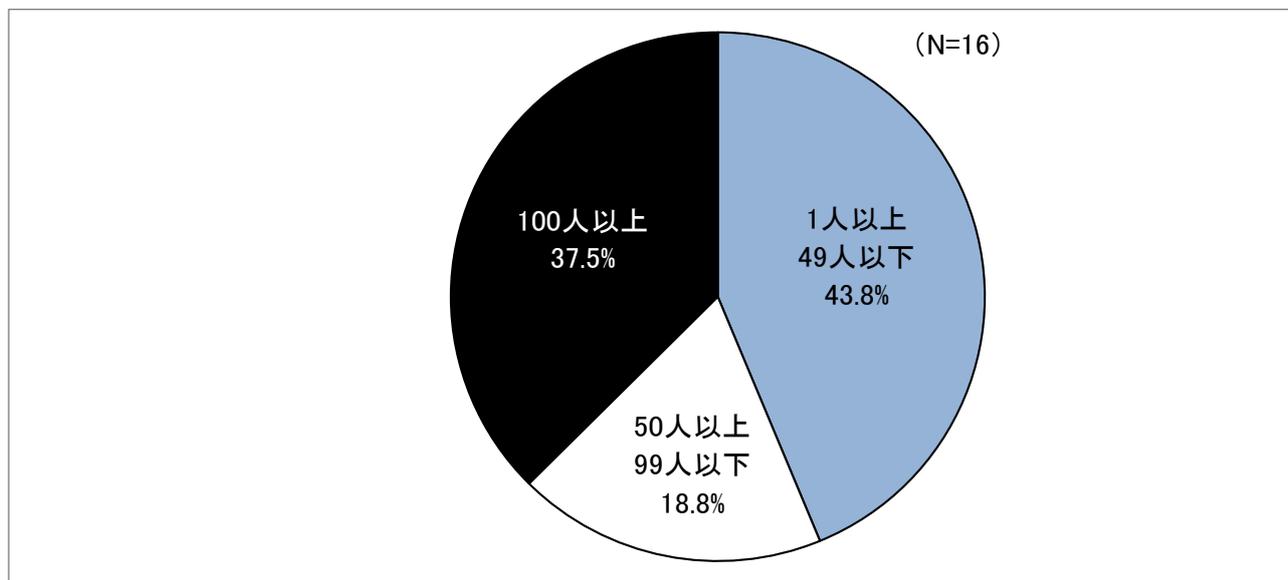


3) 収容人数

問 施設の宿泊用客室を合計した収容人数を教えてください。

回答者の宿泊用客室を合計した収容人数として、最も多いのは「1人以上49人以下」で43.8%（7件）であり、次いで「100人以上」で37.5%（6件）である。室数に比べ、収容人数が多いのは、旅館やリゾートホテルのように1室あたりに複数人泊まれるタイプの施設が多いためである。

図表 6 収容人数



(2) 宿泊客の現況

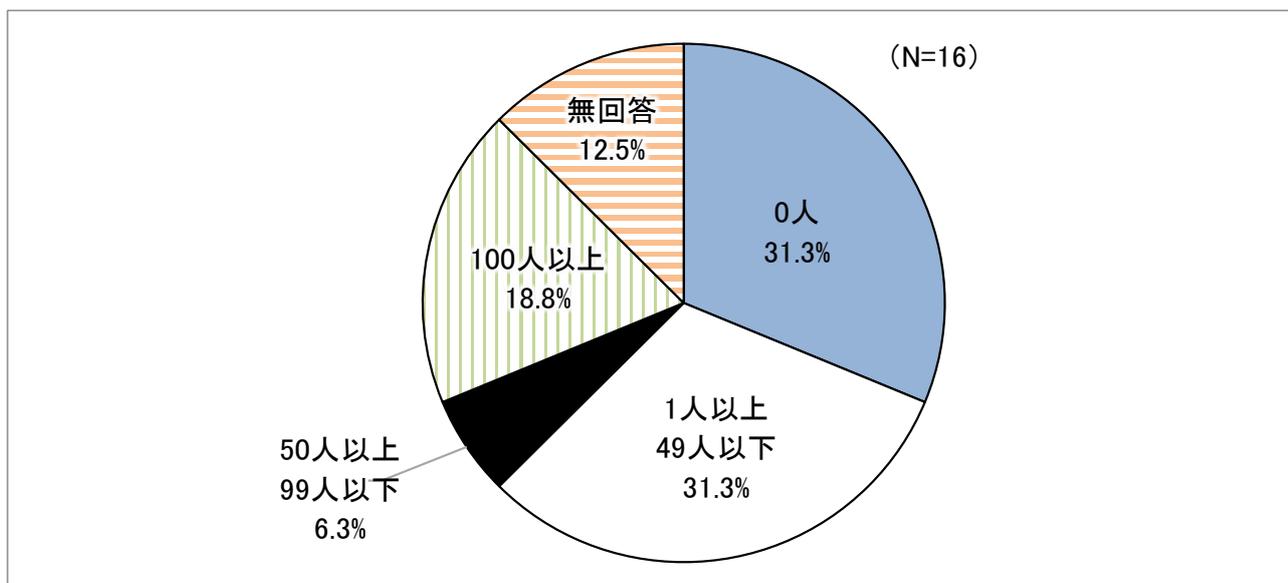
1) 外国人宿泊客人数

問 昨年1年間の外国人宿泊客人数を教えてください。

昨年1年間の外国人宿泊客人数の平均は37.1人であった。最も多かった施設では200人、最も少なかった施設では0人である。割合として多いのは「0人」及び「1人以上49人以下」で同率の31.3%である。両者を合わせると年間49人以下しか外国人が訪れない施設が62.6%である。

近年インバウンド観光客の増加が注目されているが、君津市においては、外国人が全く宿泊していない施設もある。

図表 7 外国人宿泊客人数

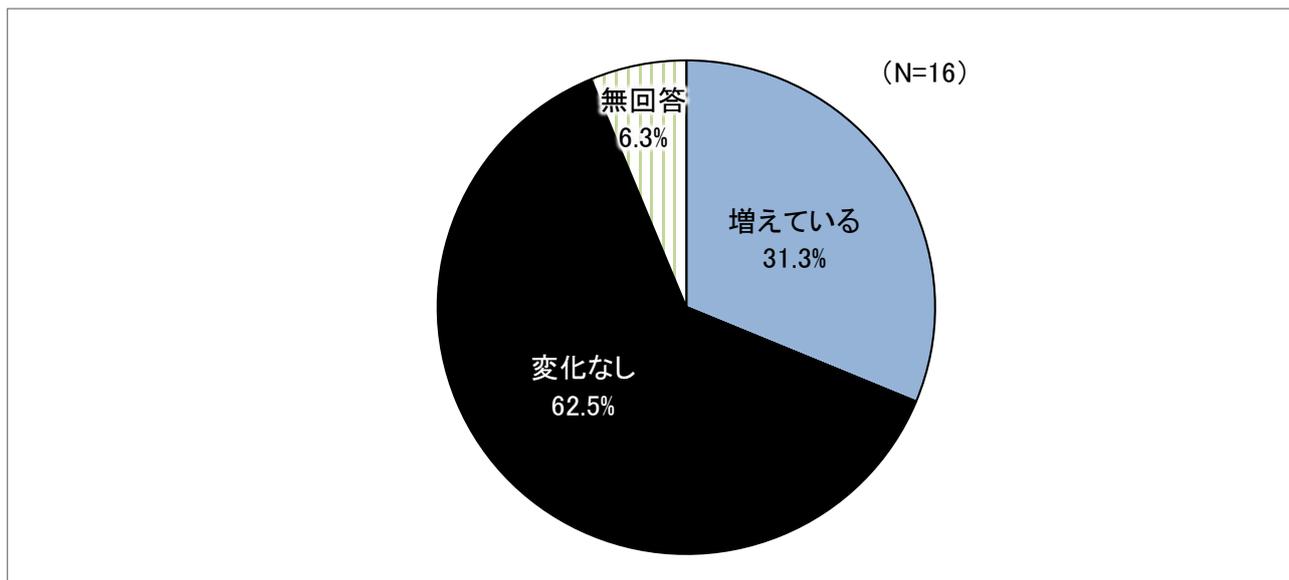


2) 外国人宿泊客数の増減

問 直近2～3年の外国人宿泊客人数は増えていますか。

直近2～3年の外国人宿泊客人数の増減について、最も多いのは「変化なし」で62.5%（10件）である。次いで「増えている」で31.3%（5件）であるため、回答者全体としては微増の状況にあると推察される。

図表 8 外国人宿泊客数の増減



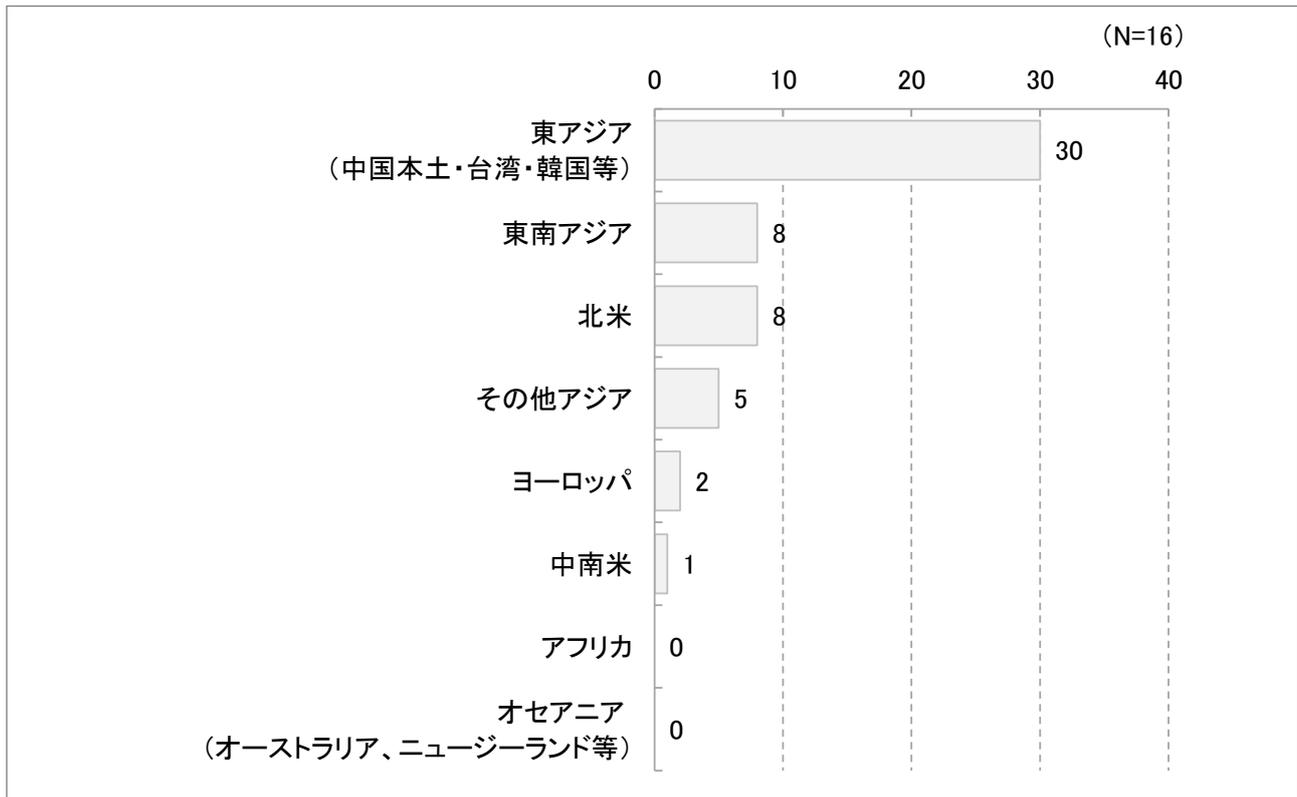
3) 外国人宿泊客の国籍(地域くり)

問 外国人宿泊者のうち、多い国籍*を多い順にお答え下さい。

*地域の区分としては、以下図表のように設定。

外国人宿泊者の国籍のうち多い国籍を順位付けしていただき、第1位を3ポイント、第2位を2ポイント、第3位を1ポイントとしてポイント付けしたところ¹、ポイントが最も多いのは「東アジア(中国本土・台湾・韓国等)」で、30ポイントと圧倒的である。次いで、「東南アジア」「北米」が同点で8ポイント、「その他アジア」が5ポイントと続く。

図表 9 外国人宿泊客の国籍(単位:ポイント)



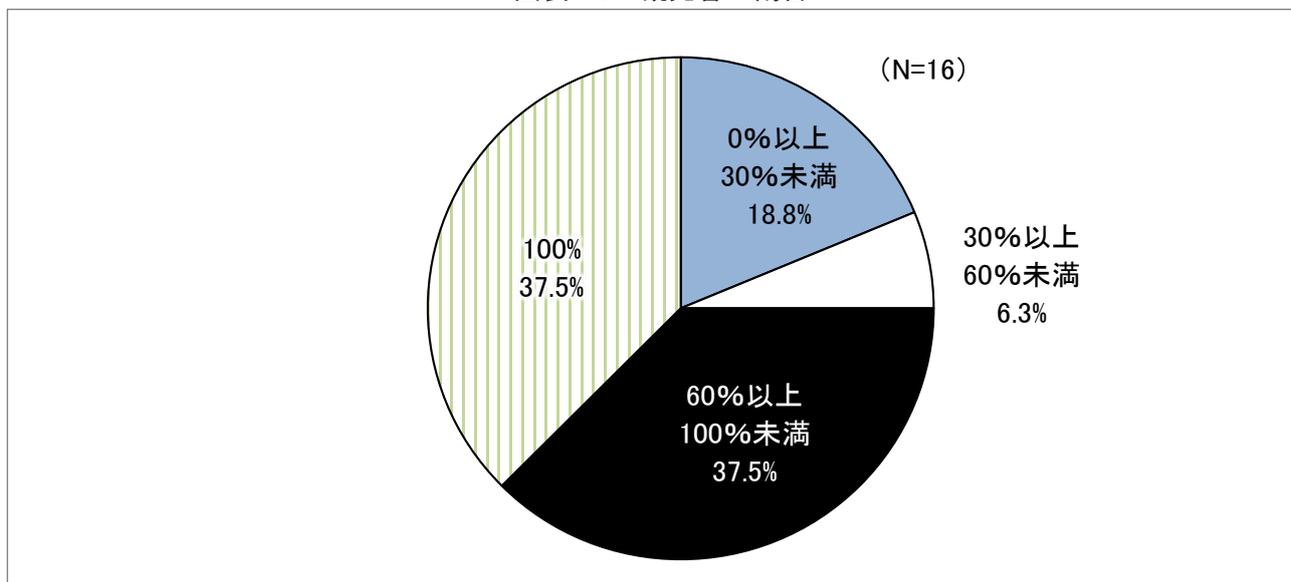
¹ 無回答は0点として計算している。

4) 観光客の割合

問 施設の宿泊客を観光客／ビジネス客に大きく分類すると、観光客の割合はどのくらいですか。

観光客の割合は、平均73.0%と高く、ビジネス客よりも多くなっている。特に多いのは、「60%以上100%未満」、「100%」が同率で37.5%であり、両者を合わせると観光客の割合が60%以上という回答は70.0%である。

図表 10 観光客の割合

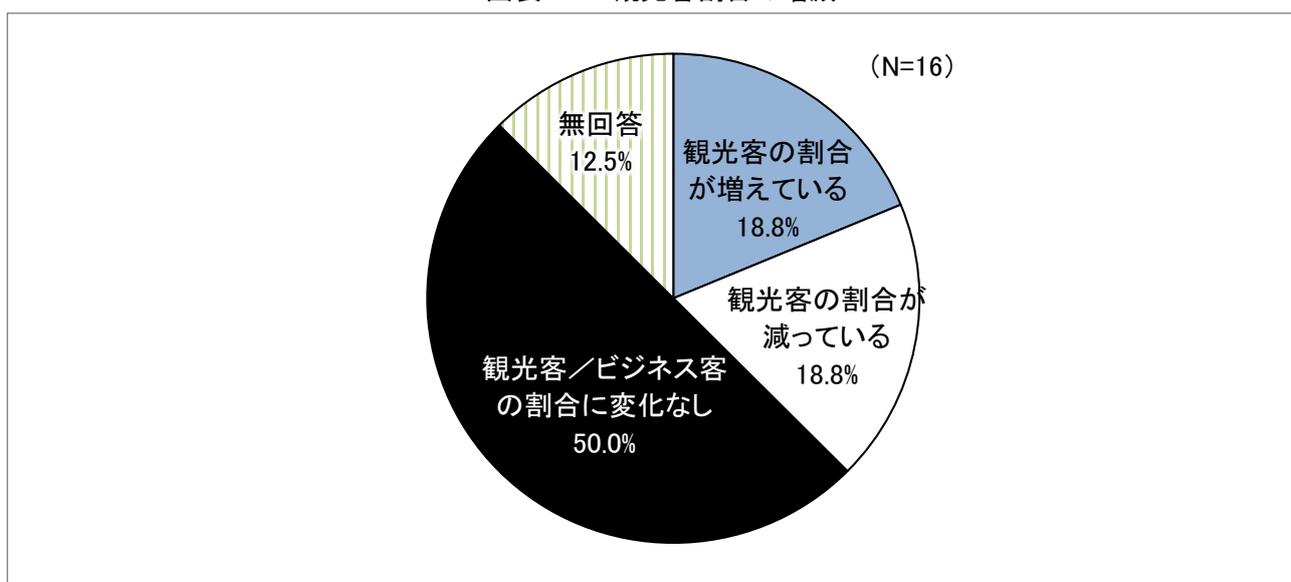


5) 観光客割合の増減

問 貴施設の直近2～3年の観光客の割合は増えていますか。

直近2～3年における各宿泊施設を訪れる観光客の動態としては、「観光客／ビジネス客の割合に変化なし」が50.0%（8件）と最も高い割合を占める。次いで、「観光客の割合が増えている」と「観光客の割合が減っている」が同率の18.8%（3件）となっている。

図表 11 観光客割合の増減

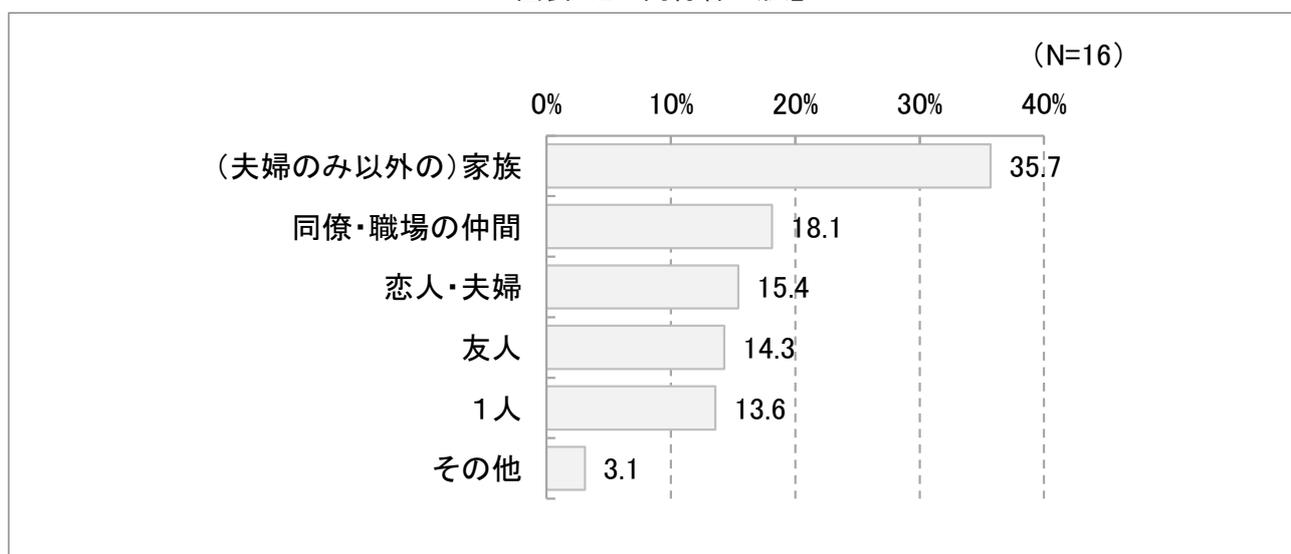


6) 同行者の形態

問 貴施設の宿泊客の同行者のおおよその割合を教えてください。

各施設を訪れる宿泊客の同行者のおおよその割合としては、回答者平均で最も高い割合を占めているのは「(夫婦のみ以外の) 家族」で35.7%である。次いで、「同僚・職場の仲間」で18.1%、「恋人・夫婦」で15.4%と続く。

図表 12 同行者の形態



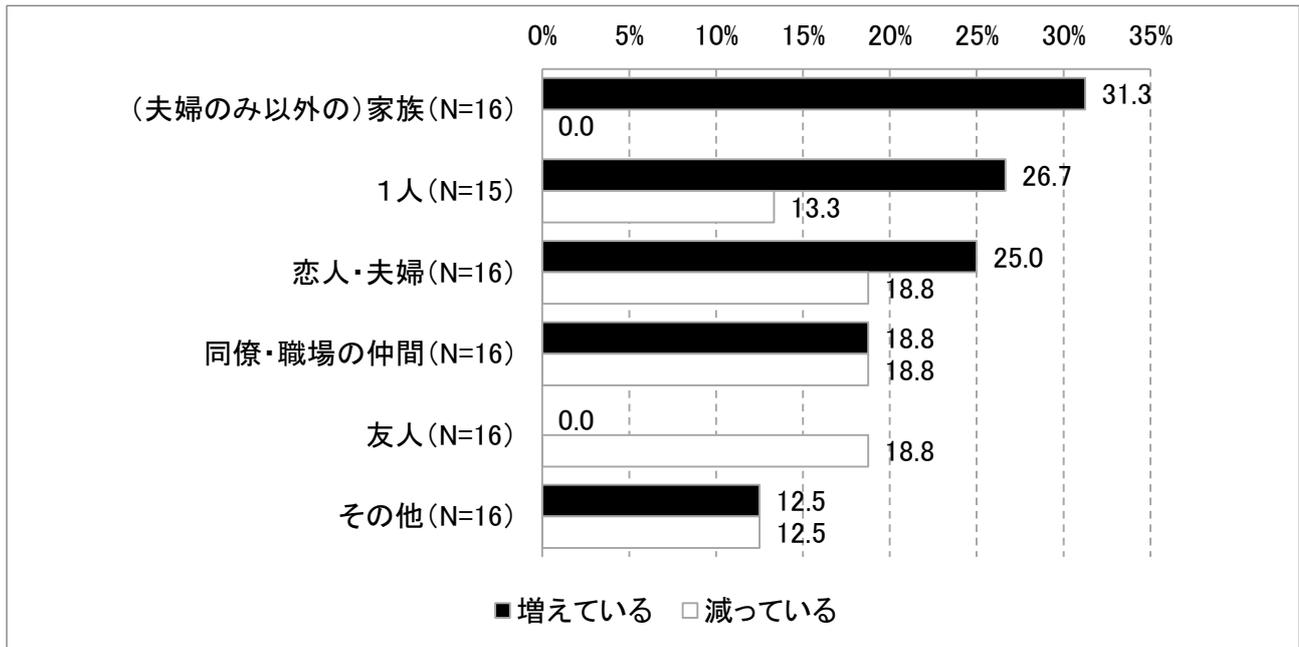
7) 同行者の形態の変化

問 施設の宿泊客の同行者の形態で、増えているもの・減っているものを教えてください
(いくつでも)

施設の宿泊客の同行者の形態の変化としては、増えているとして選択されたのは「(夫婦のみ以外の) 家族」が31.3% (5件) と最も多く、次いで「1人」が26.7% (4件)、「恋人・夫婦」が25.0% (4件) となっている。

一方、減っているのは、「恋人・夫婦」及び「同僚・職場の仲間」、「友人」が、いずれも18.8% (3件) となっている。

図表 13 同行者の形態の変化



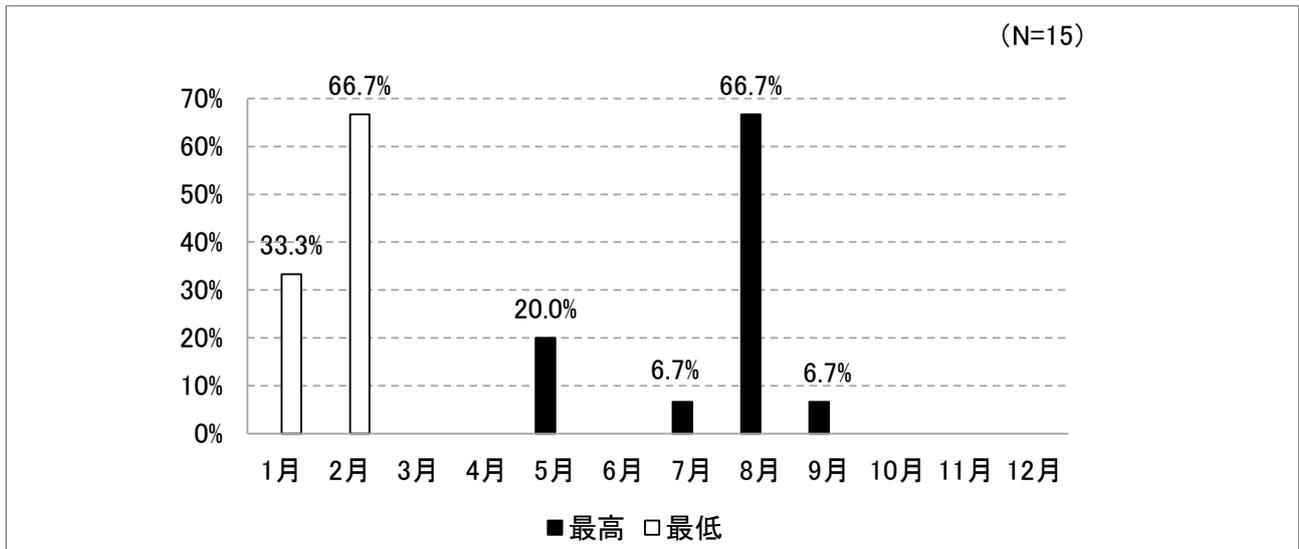
8) 宿泊客の季節変動

問 1年のうち客室稼働率が最高の月・最低の月とその差を教えてください。

1年のうち客室稼働率が最高となる月は、「8月」が66.7%（10件）と最も多く、次いで「5月」が20.0%（3件）となっている。市内の宿泊施設では、特に夏休みやゴールデンウィーク時期などに稼働率が高まる状況にあると考えられる。

一方、最低となる月は「2月」が66.7%（10件）と最も多く、次いで、「1月」が33.3%（5件）となっている。年始～2月にかけては閑散期になる宿泊施設が多い状況にある。

図表 14 客室稼働率が最高の月・最低の月



(3) 外国人宿泊客への対応

1) 外国人宿泊客への対応内容とその具体的な内容

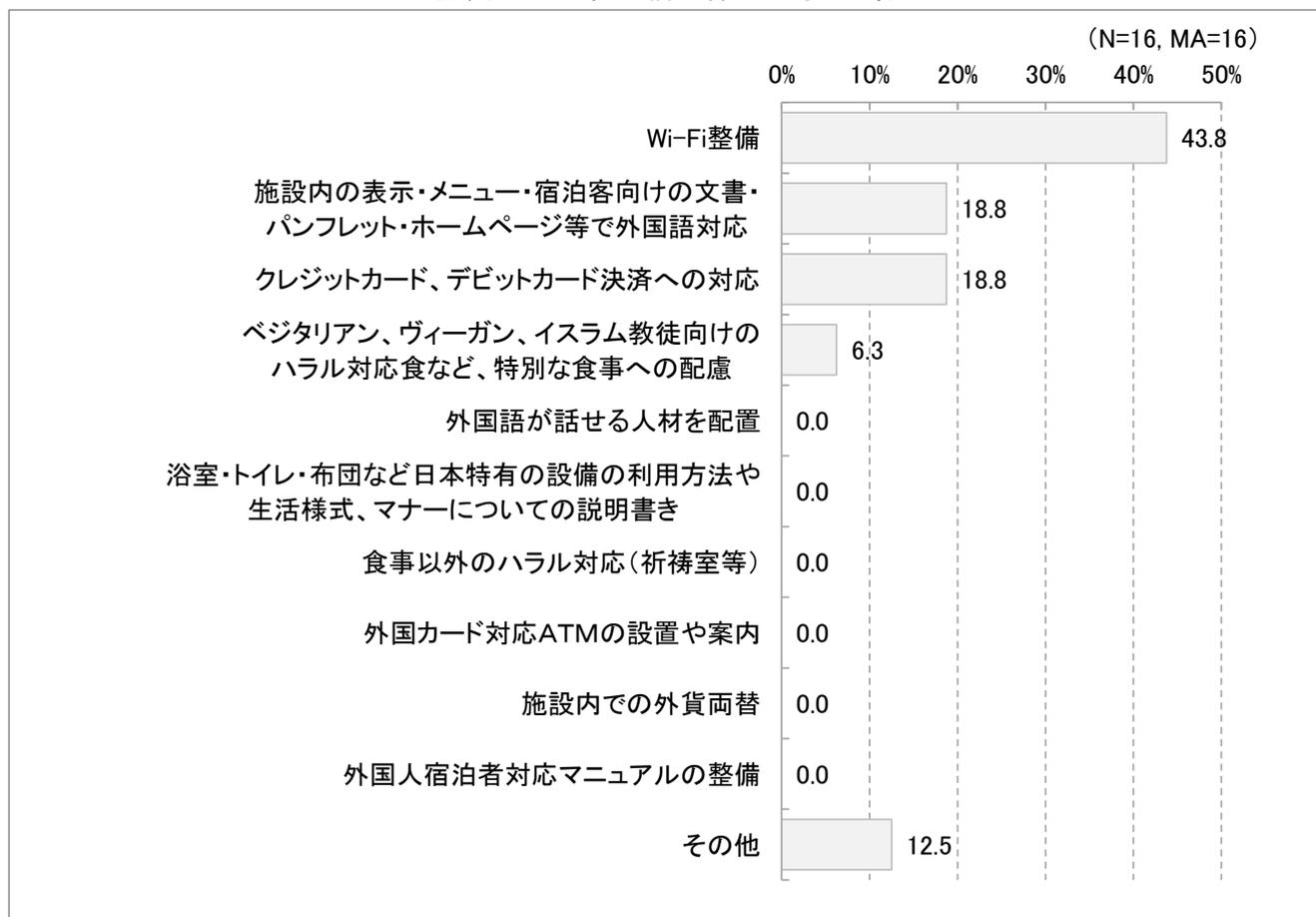
問 外国人宿泊客への対応として、実施していることを選んで下さい（いくつでも）

問 外国人宿泊客への対応として、実施していることを教えてください（記述式）

外国人宿泊客への対応として最も多くの宿泊施設が実施しているのは、「Wi-Fi整備」で43.8%（7件）である。次いで「施設内の表示・メニュー・宿泊客向けの文書・パンフレット・ホームページ等で外国語対応」、「クレジットカード、デビットカード決済への対応」で同率の18.8%（3件）である。「その他」としては「無」、「受け入れていない」という2件の回答が挙げられている。

また、具体的な実施内容を記述式で回答していただいたところ、2件の回答があり²、翻訳アプリで対応」等があるが、全体として、外国人宿泊への対応はあまり進んでいない状況にある。

図表 15 外国人宿泊客への対応内容



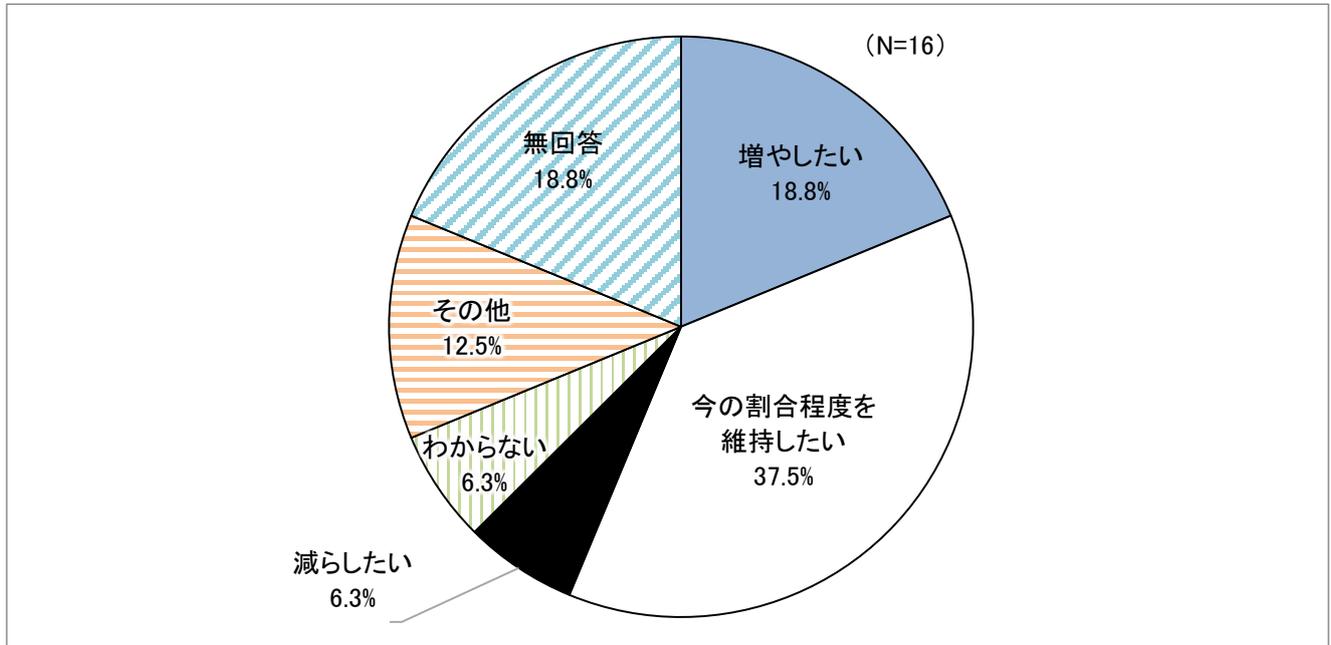
² 「なし」「特になし」などの回答は除いている。以下自由回答については、全て同様の扱いとする。

2) 外国人宿泊客受け入れへの意向

問 貴施設のお考えに当てはまるものを選んで下さい。

外国人宿泊客の受け入れ意向として最も多く挙げられたのは「今の割合程度を維持したい」で46.3%（6件）である。次いで「増やしたい」で23.1%（3件）である。

図表 16 外国人宿泊客受け入れ意向



また、受け入れ意向を外国人宿泊客割合の増減別（図表 8）にみたところ、「増えている」と回答した宿泊事業者では、「今の割合程度を維持したい」が最も多く3件である。一方で、「減らしたい」という回答も1件ある。

「変化なし」と答えた事業者は、「増やしたい」「今の割合程度を維持したい」が3件ずつとなっている。

図表 17 外国人宿泊客割合の増減別今後の外国人宿泊客受け入れ意向

	N	増やしたい	今の割合程度を維持したい	減らしたい	わからない	その他	無回答
全体	16	3	6	1	1	2	3
増えている	5	0	3	1	0	0	1
変化なし	10	3	3	0	1	1	2
無回答	1	0	0	0	0	1	0

(4) 各施設の課題

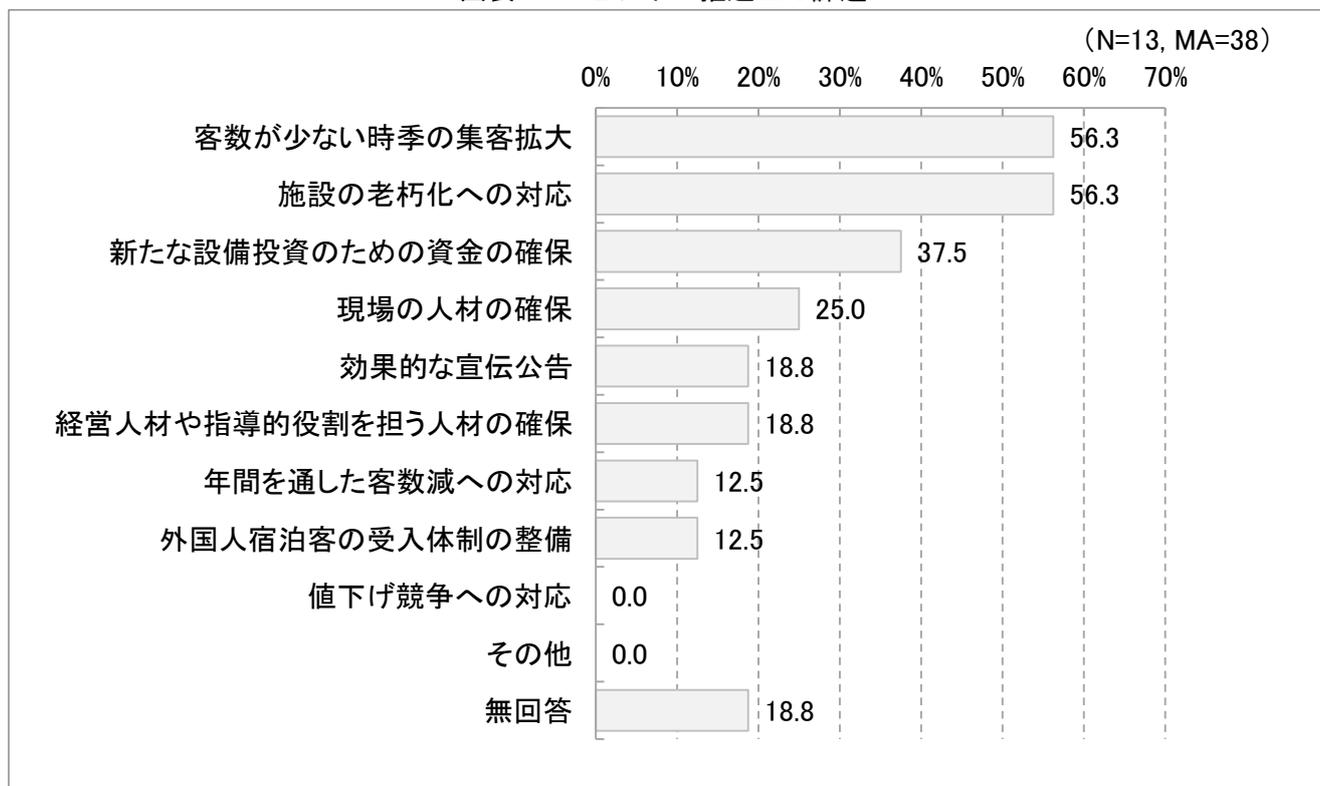
1) ビジネス推進上の課題

問 貴施設の主に宿泊ビジネスにおける課題はどのようなことですか。
お考えに当てはまるものに○をつけて下さい（いくつでも）。

主に宿泊ビジネス上の課題として、最も多く挙げられたのは「客数が少ない時季の集客拡大」及び「施設の老朽化への対応」であり、同率の56.3%（9件）となっている。次いで、「新たな設備投資のための資金の確保」が多く、37.5%（6件）を占めている。

特に冬期などの客室稼働率が低い時季の対応、建物や設備の更新投資などによる集客戦略が大きな課題となっている状況にある。

図表 18 ビジネス推進上の課題



2) 目標・競合とする施設や事例

問 貴施設がサービスを検討する上で目標にしたり、競合として参考にしたりしている施設や事例があれば教えてください。

目標・競合とする施設や事例としては、特に回答は得られなかった。

(5) 君津市の観光について

1) 君津市の観光の課題

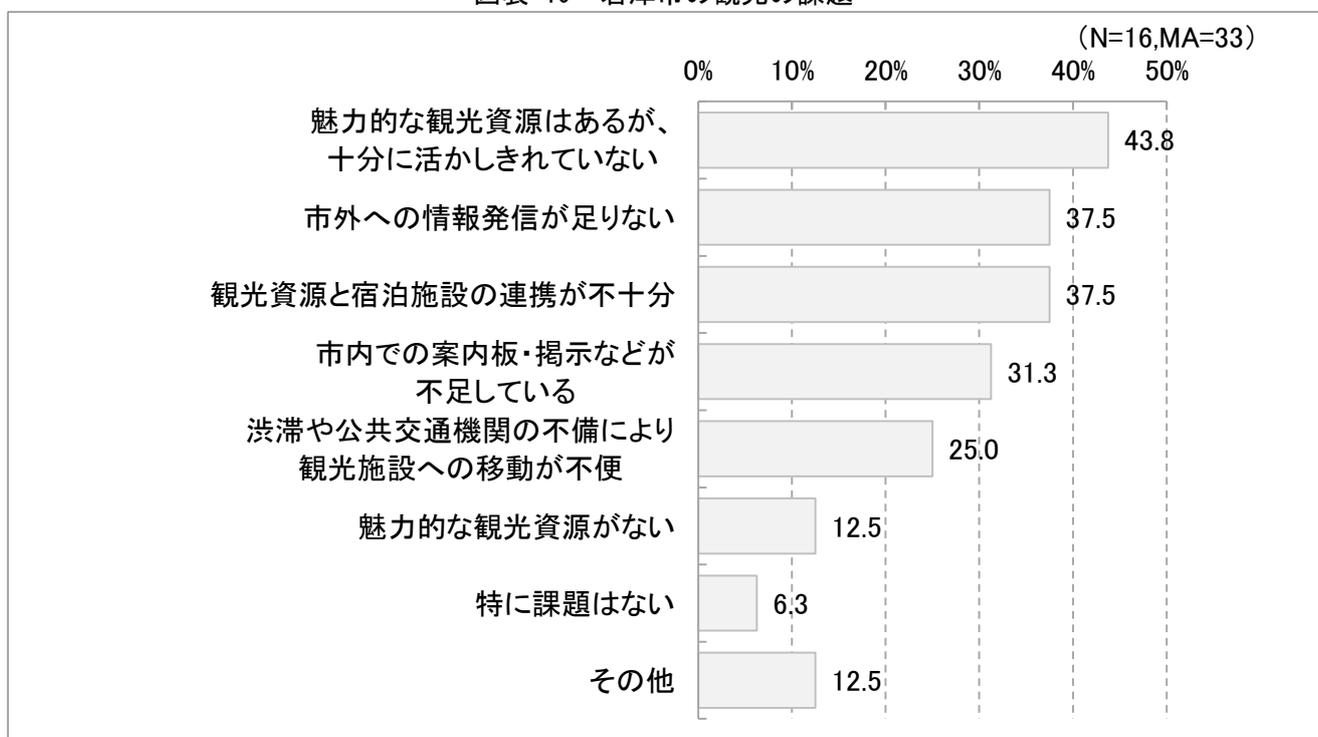
問 君津市の観光の課題はどのようなことだと思われますか。お考えに当てはまるものに○をつけて下さい（いくつでも）

君津市の観光の課題として最も多く挙げられたのは、「魅力的な観光資源はあるが、十分に活かしきれていない」で43.8%（7件）である。次いで、「市外への情報発信が足りない」及び「観光資源と宿泊施設の連携が不十分」で、同率の37.5%（6件）である。

市内の魅力的な観光資源と宿泊施設の連携を図りながら、いかに磨き上げて商品化していくか、それをどう発信して訴求力を高めていくかということが、大きな課題として挙げられている。

「その他」の回答としては、3件挙げられており、「テーマパークがない」、「観光客にお金を使ってもらうための民間の投資が少ない。長期的には観光地を周遊する道路網の整備」、「個人的努力が足りない。どうせもう、とあきらめがち」である。

図表 19 君津市の観光の課題



2) 清水溪流広場の影響

問 清水溪流広場が話題となってから、貴施設の営業に影響がありましたらご記入ください。

清水溪流広場（濃溝の滝・亀岩の洞窟、以下「清水溪流広場」とする）が話題となってからの回答者の施設への影響としては、15件の回答が挙げられており、そのうち、最も多く挙げられたのは「濃溝を目的とする宿泊者も増えた」等“清水溪流広場観光を目的とした施設への来訪者の増加”が3件、次いで、「多少うちは近いので見に行くお客様がいらっしゃいました。」等、施設への来訪者が清水溪流広場への興味を示し、問い合わせ等が増加したとする“施設への来訪者の清水溪流広場への興味の増加”が2件と、来訪者の観光行動にプラスの影響が見られたとする施設もある。

3) 君津市の観光行政に望むこと

問 君津市（自治体）の観光行政に対して望むことを教えてください。

君津市の観光行政に望むこととしては、13件の回答が挙げられ、「亀山より奥の地域ももっとアピールしてほしい」等の“観光関連PRの強化”が3件と最も多くなっている。

4) 君津市の観光へのご意見

問 君津市の観光についてのご意見を自由にお聞かせ下さい。

君津市の観光へのご意見としては、10件が挙げられ、そのうち最も多い回答は「魅力的な市なので、上手な情報発信をしてほしい」等“情報発信の強化”で3件である。

2-2. 宿泊施設以外の事業者

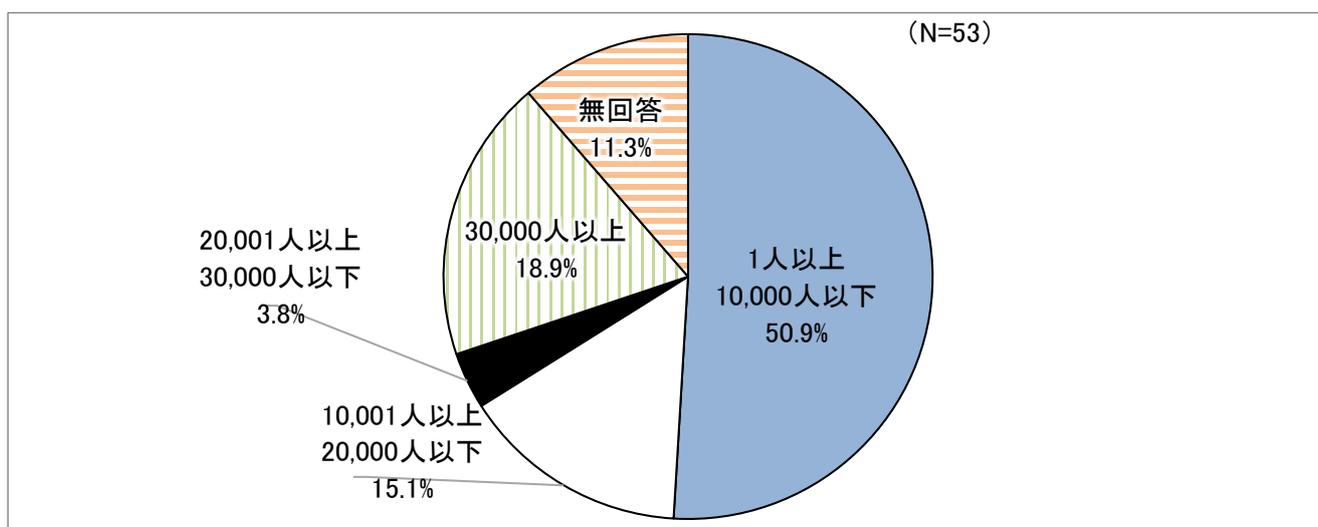
(1) 来訪者の現況

1) 年間来訪者数

問 貴施設・団体の昨年1年の来訪者の人数を教えてください。

回答者の施設・団体に来訪した昨年1年の人数は、平均で35,415人、最大で42,600人、最小で30人である。割合としては、「1人以上10,000人以下」の施設が最も多く過半数である。

図表 20 年間来訪者数



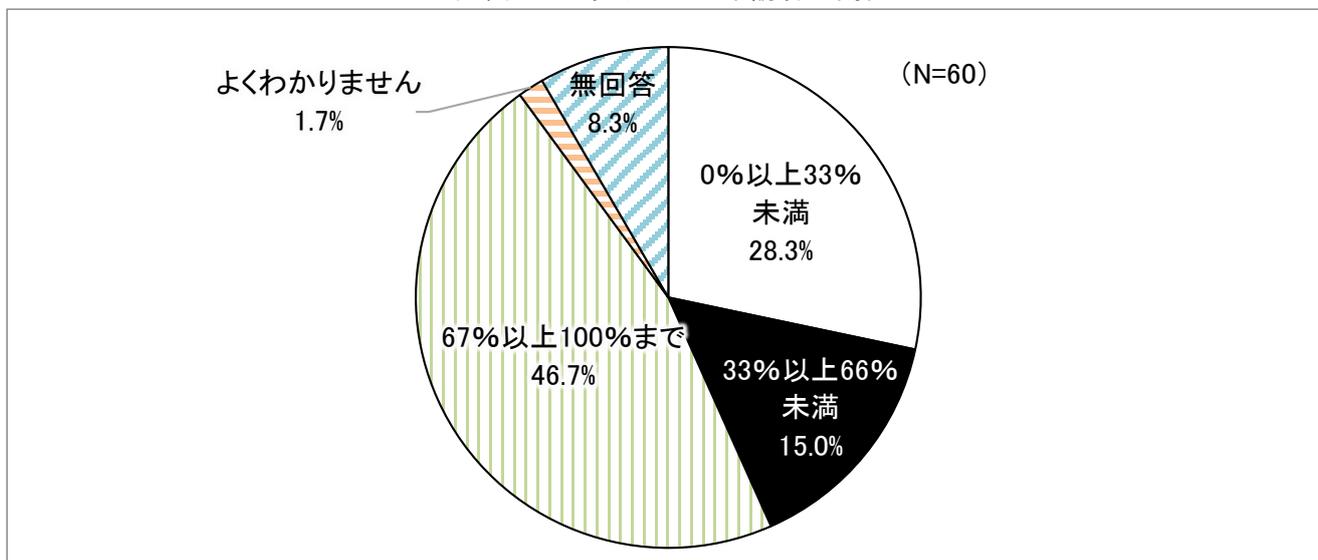
2) 市外からの来訪者の割合

問 来訪者のうち、市外からの来訪者のおおよその割合を教えてください。

来訪者のうち、市外からの来訪者の割合の平均は54.0%、最大は98.0%、最小は0.0%である。割合として最も多いのは「67%以上100%まで」で46.7%である。

平均としては約半数が市外からであることがわかるが、施設によってどちらから来る割合が多いのかは異なるようである。

図表 21 市外からの来訪者の割合

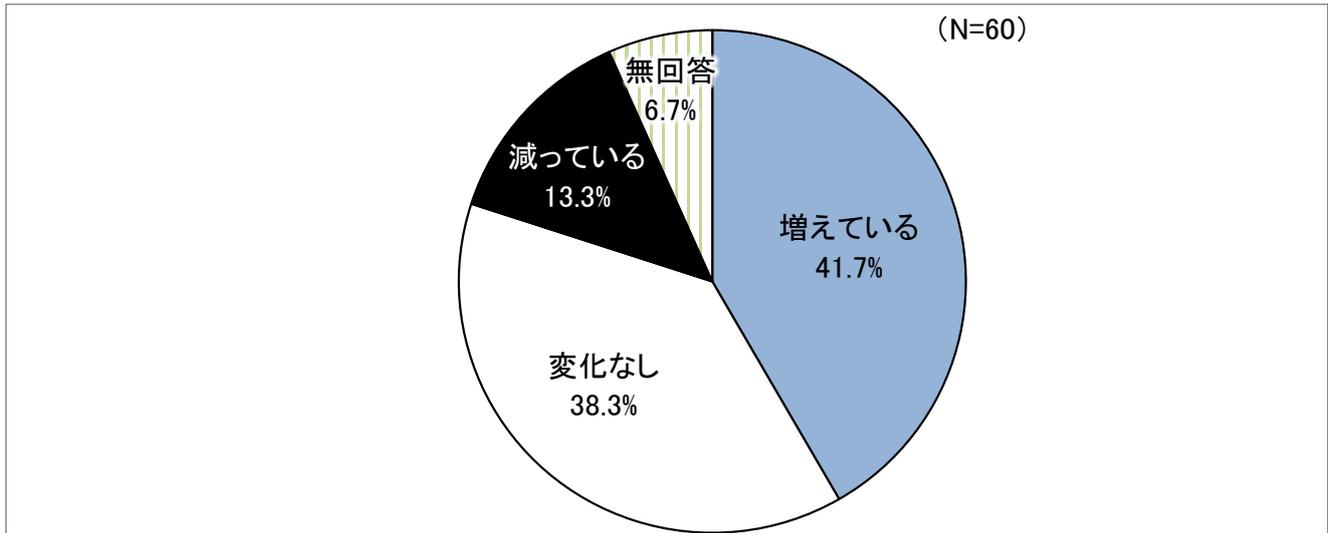


3) 市外からの来訪者の割合の増減

問 直近2～3年の市外からの来訪者の割合は増えていますか。

直近2～3年の市外からの来訪者の割合として、最も多いのは「増えている」で41.7%（25件）である。次いで「変化なし」が38.3%（23件）、「減っている」が13.3%（8件）に留まることから、市全体としては微増の状況にあると推察される。

図表 22 市外からの来訪者の割合の増減

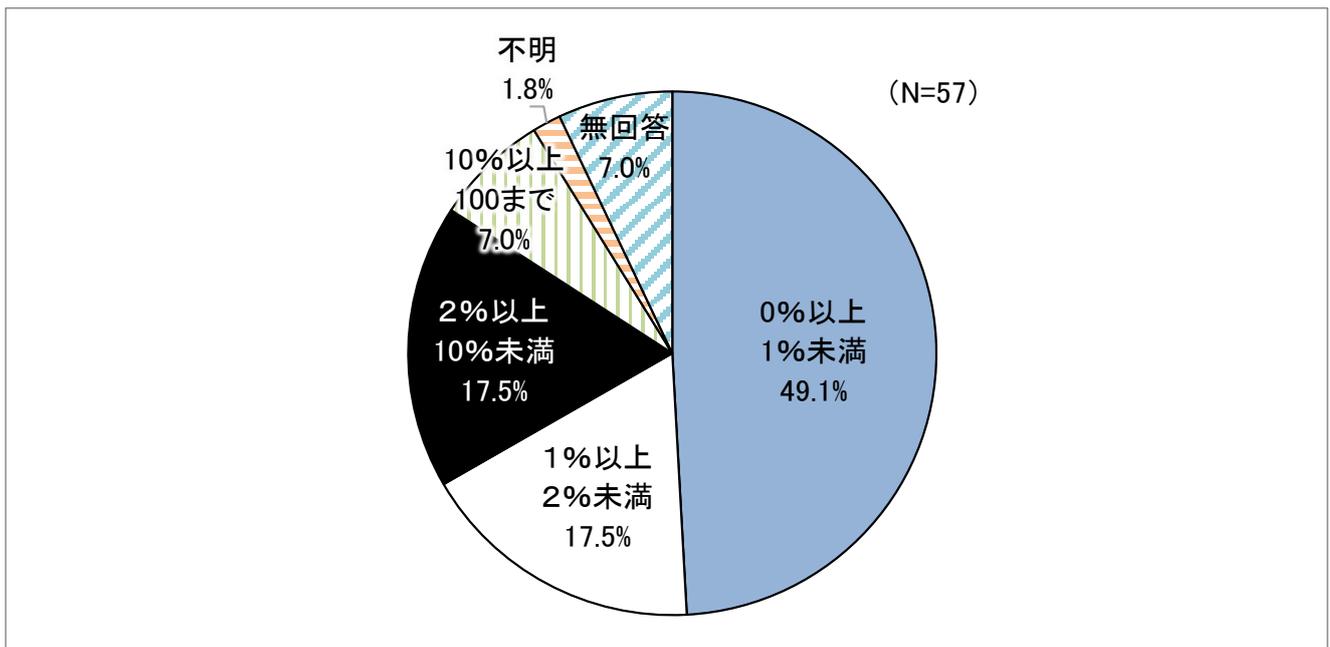


4) 外国人来訪者の割合

問 直近2～3年の外国人来訪者の割合を教えてください。

直近2～3年の外国人来訪者の割合として、回答者の平均は1.9%、最大は20.0%、最小は0.0%である。割合として最も多かったのは「0%以上1%未満」で49.1%であり、来訪者のうち、外国人来訪者はあまり多くない状況にある。

図表 23 外国人来訪者の割合

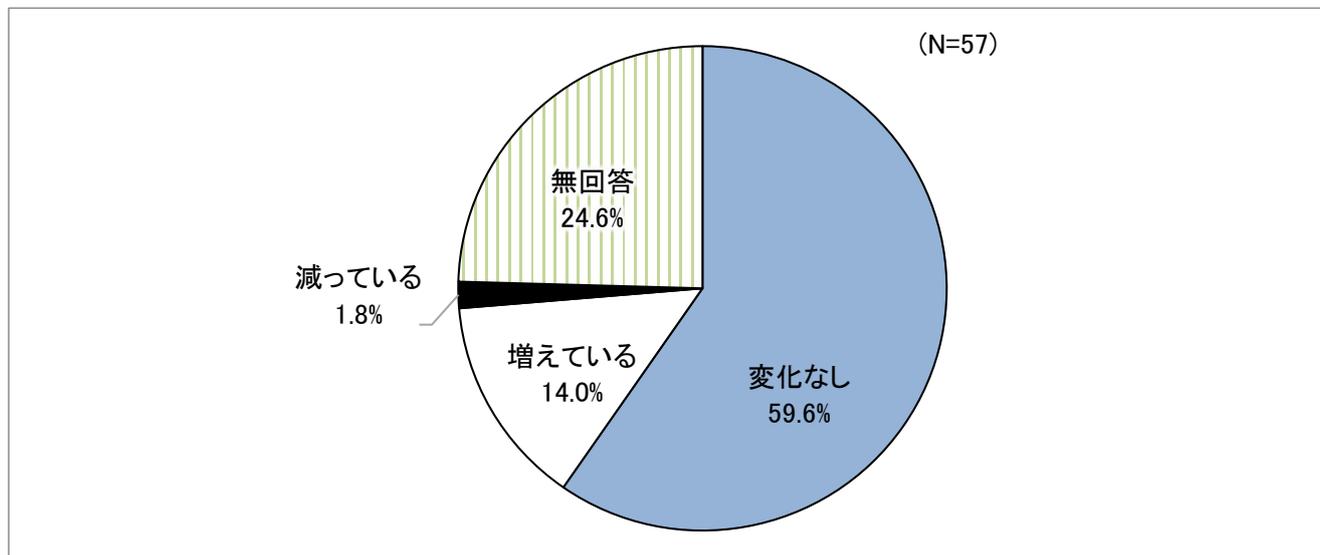


5) 外国人来訪者割合の増減

問 直近2～3年の外国人来訪者の割合は増えていますか。

直近2～3年の外国人来訪者の割合として、最も多いのは「変化なし」で59.6%（34件）である。次いで「増えている」で14.0%（8件）である。

図表 24 外国人来訪者割合の増減



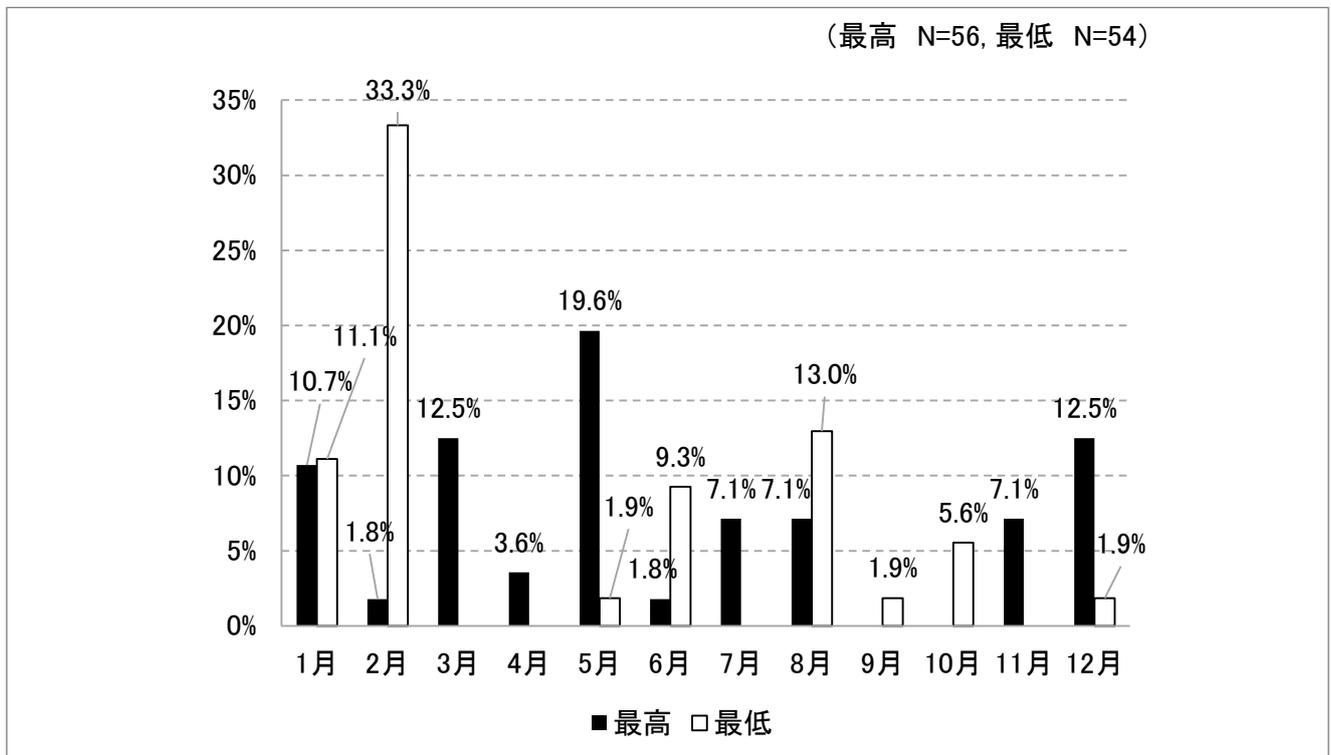
6) 来訪者の季節変動

問 1年のうち来訪者数が最高の月・最低の月とその差を教えてください。

1年のうち来訪者数が最高となる月は、「5月」が19.6%（11件）と最も多く、次いで、「3月」及び「12月」が同率の12.5%（7件）となっている。宿泊施設の客室稼働率の変動（図表12）と比べると、業種による繁忙期のばらつきが見られる。

一方、最低となる月は「2月」が33.3%（18件）と最も多く、次いで「8月」が13.0%（7件）、「1月」が11.1%（6件）となっている。1～2月は、宿泊施設も同様に閑散期であることから、市全体として観光客が少ない時季であると考えられる。それに対して8月は、宿泊施設は繁忙期であるにもかかわらず、市内の観光関連施設には来訪者が立ち寄っていない状況にあると考えられる。

図表 25 来訪者の季節変動



(2) 外国人来訪者への対応

1) 外国人来訪者への対応内容とその具体的な内容

問 外国人来訪者への対応として、実施していることを選んで下さい（いくつでも）

問 外国人来訪者への対応として、実施していることを教えてください（記述式）

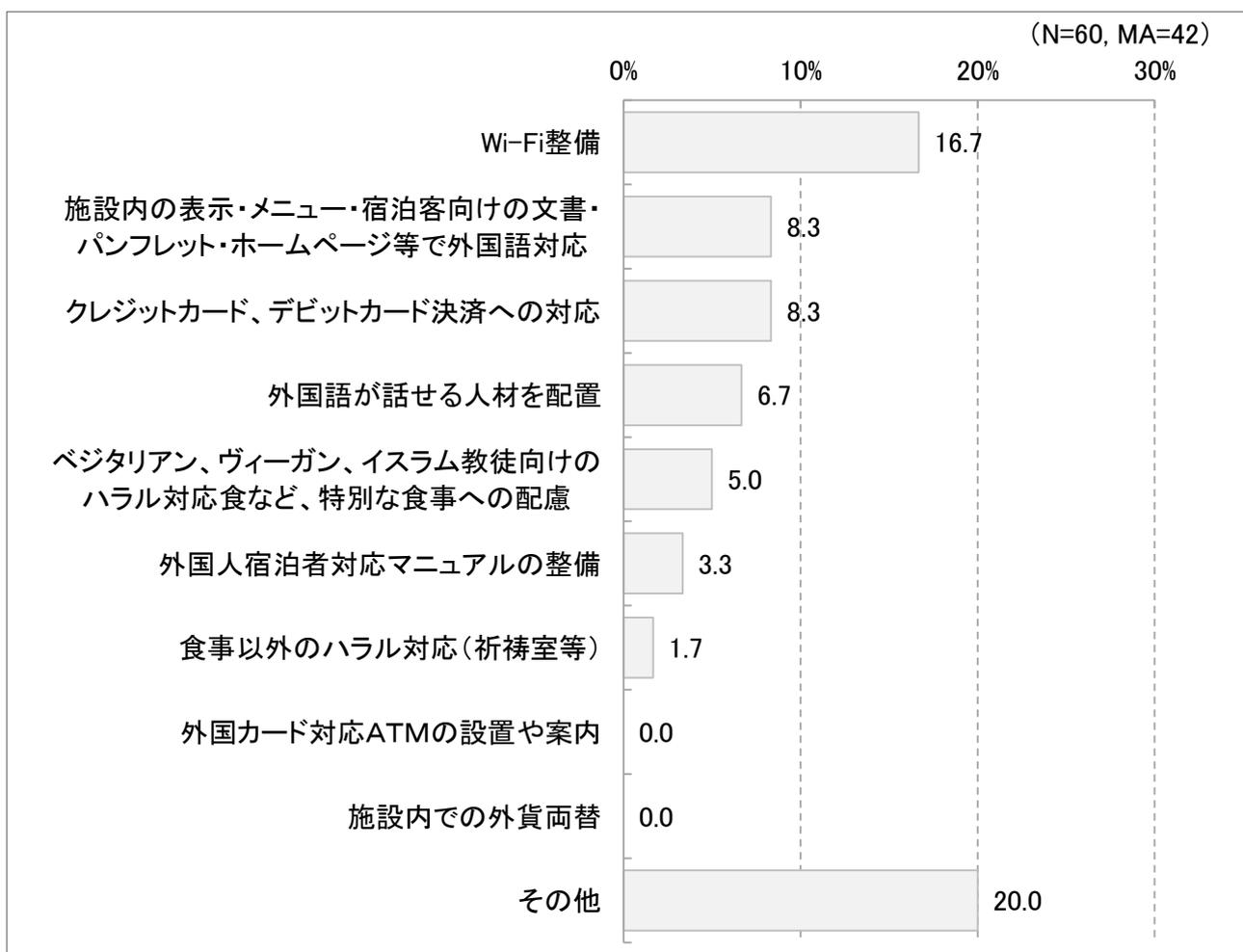
外国人来訪者への対応として最も多くの観光関連施設が実施しているのは、「Wi-Fi整備」で16.7%（10件）である。次いで、「施設内の表示・メニュー・宿泊客向けの文書・パンフレット・ホームページ等で外国語対応」及び「クレジットカード、デビットカード決済への対応」が同率で8.3%（5件）と続く。

一方、「外国カード対応ATMの設置や案内」や「施設内での外貨両替」を実施している回答者はおらず、カードへの対応はしているが、外国人が現金で滞りなく会計ができるところまでは対応していない。

「その他」の回答としては20.0%（11件）が挙げられているが、全て「なし」等であった。

また、記述式で、具体的な実施内容を回答していただいたところ、8件の回答があり、その中でも、「翻訳機の導入」等の“多言語対応”が予定も含め4件と最も多い。

図表 26 外国人来訪者への対応内容



(3) 各施設の課題

1) ビジネス推進上の課題

問 貴施設・団体で、主に市内外の来訪者を受け入れているビジネス部門における課題はどのようなことですか。

ビジネス推進上の課題について、20件の回答が挙げられ、そのうち最も多かったのは「交通機関がないこと」、「駐車場の制限」等の“交通アクセスの改善”が7件である。交通アクセスについては、1施設・団体で対応することは難しいため、今後、市や施設・団体間での連携が必要と考えられる課題である。

2) 目標・競合とする施設や事例

問 貴施設がサービスを検討する上で目標にしたり、競合として参考にしたりしている施設や事例があれば教えてください。

目標・競合とする施設や事例について、7件の回答が挙げられ、同種・同規模施設を挙げる回答や、先進事例としてのディズニーランドを挙げる回答がある。

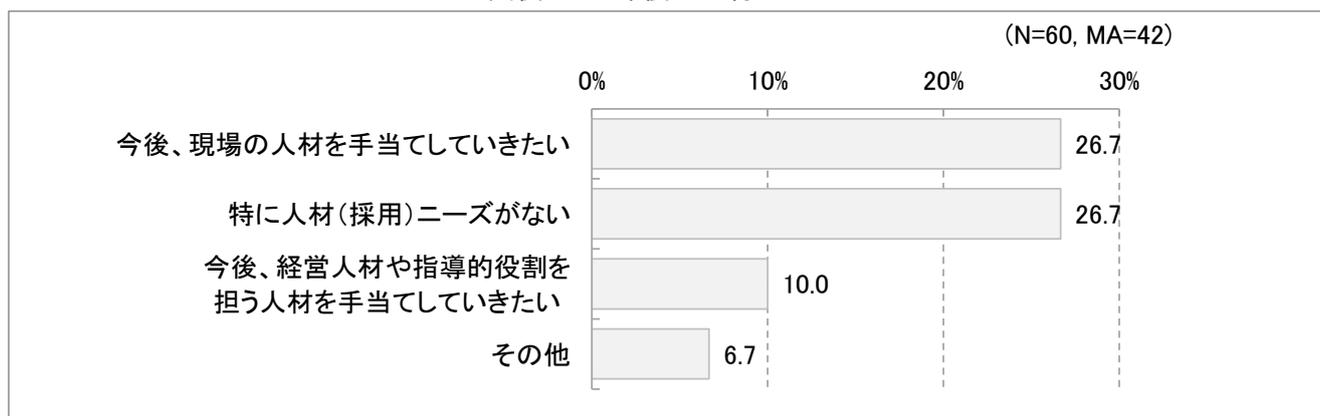
3) 今後の人材ニーズ

問 施設・団体の人材ニーズとしてもっとも当てはまるものに○をつけて下さい（いくつでも）。

回答者の今後の人材ニーズとしては、「今後、現場の人材を手当てしていきたい」及び「特に人材（採用）ニーズがない」が、いずれも26.7%（16件）と高い割合を占めている。今後も事業を継続・拡大する上で新たな人材確保が必要だと考えている施設・団体と、現状維持を望む施設・団体とが、どちらもいることが伺える。

その他の回答としては「何か1つのことに熱中できる人物」等、4件が挙げられている。

図表 27 今後の人材ニーズ



(4) 君津市の観光について

1) 君津市の観光の課題

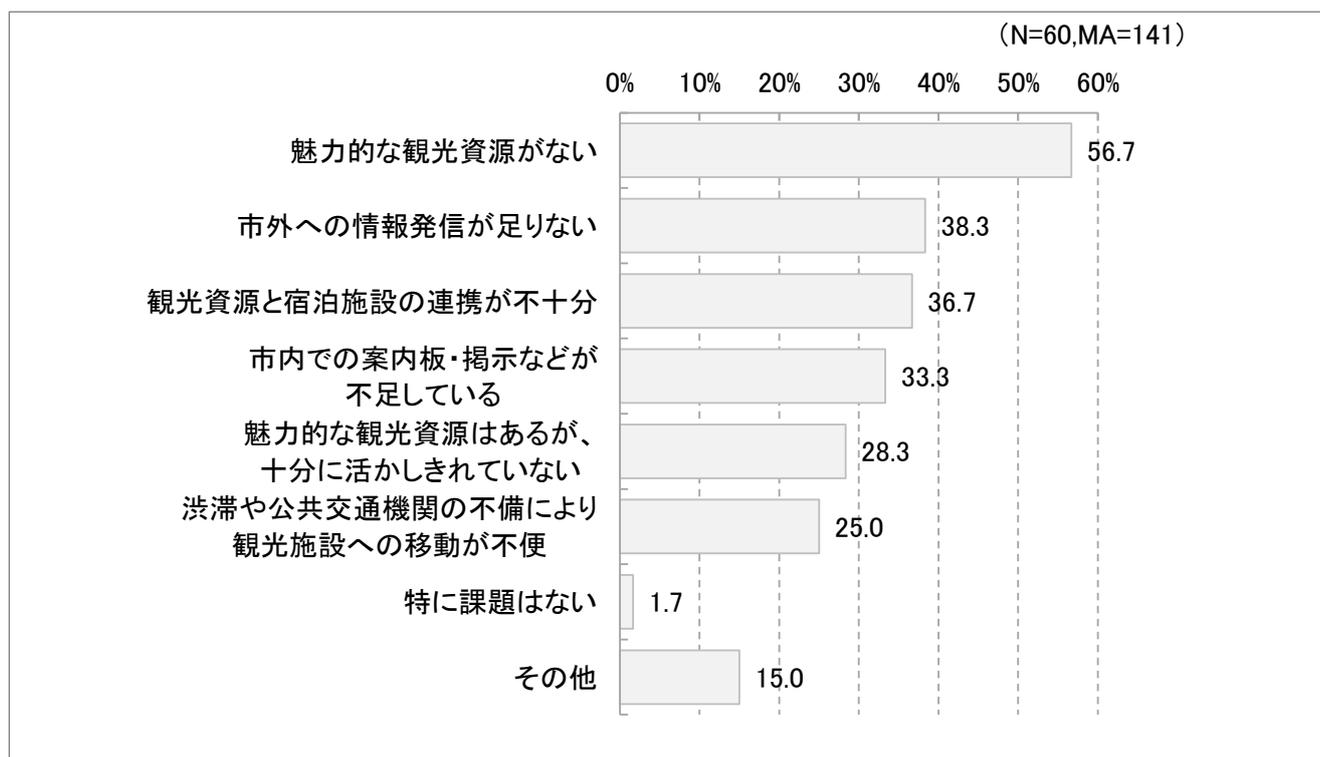
問 君津市の観光の課題はどのようなことだと思われますか。お考えに当てはまるものに○をつけて下さい（いくつでも）

君津市の観光の課題として最も多く挙げられたのは、「魅力的な観光資源がない」で56.7%（34件）を占めている。これは、「魅力的な観光資源があるが十分に活かしきれていない（28.3%（17件）」とする回答の2倍に及ぶ。

次いで多く挙げられたのは、「市外への情報発信が足りない」で38.3%（23件）、「観光資源と宿泊施設の連携が不十分」で、36.7%（22件）となっている。

宿泊施設では、魅力的な観光資源があるという回答が約4割と最も高い割合を占めているのに対し、観光関連事業者は、約6割がそもそも魅力的な観光資源がないと感じている状況にある。観光関連施設及び宿泊施設の各事業者の連携を通じ、地域の観光資源の再認識と魅力づくりを図っていくことが大きな課題であるものと考えられる。

図表 28 君津市の観光の課題



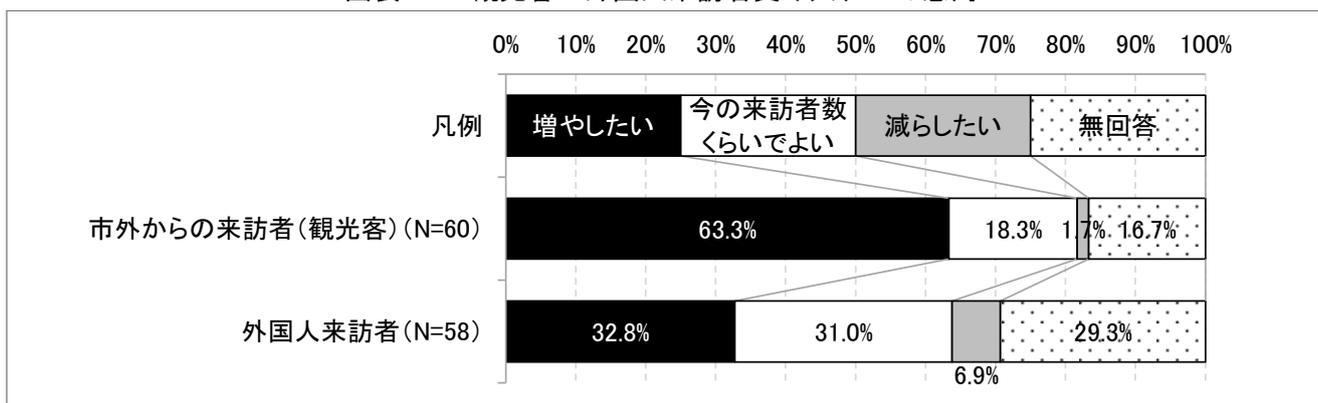
2) 観光客・外国人来訪者受け入れへの意向

問 市外からの来訪者（観光客）、外国人来訪者を受け入れることについて、貴施設・団体のお考えにもっとも当てはまるものをお選び下さい。

市外からの来訪者を受け入れることに対し、「増やしたい」という意向を持つ施設・団体が最も多く63.3%（38件）を占めている。

同様に、外国人来訪者に対しても「増やしたい」という意向が最も多く32.8%（19件）を占めている。しかしながら、「今の来訪者数くらいでよい」という回答も31.0%（18件）と同程度の割合で拮抗しており、また、「減らしたい」という回答も市外からの来訪者と比較すると多い状況にあるなど、外国人来訪者受け入れへの意向は市外からの来訪者に対する意向に比べてばらつきが見られる。

図表 29 観光客・外国人来訪者受け入れへの意向



3) 観光振興への取組意向(アピールしたい地域資源、取組みたい内容)

問 君津市内の観光資源・地域資源でもっとアピールしたいもの・こと、取組みたいことがあればお聞かせ下さい。

観光振興への取組意向（アピールしたい地域資源、取組みたい内容）としては、23件の回答が挙げられ、そのうち最も多かったのは「濃溝は今では有名ですが、ホテルの聖地であることを皆さん知らないと思う。水と緑と素晴らしい自然が都会から近いのをアピールすべきと思う」、「全国的に特異な水利（川廻し、二五穴）」等の“自然”に関するものが4件である。次いで、「清和の自然薯を使った料理のアピール」、「どんど焼きをもっとアピールすると人があつまる」等“地元産品・イベントのPR強化”に関するものが3件である。

4) 清水溪流広場の影響

問 清水溪流広場が話題となってから、貴施設の営業に影響がありましたらご記入ください。

清水溪流広場が話題となってからの回答者の施設への影響としては、27件の回答が挙げられており、そのうち、最も多く挙げられたのは「清水溪流広場に立ち寄り数人の方が当園をご利用いただいた」、「来店人数が増えた」等の“施設への来訪者の増加”である。来訪者増加につながった一方で、来訪者の増加が地域に還元されているのか疑問視する声や、多少迷惑を被っている事業者も見られる。

5) 君津市の観光行政に望むこと

問 君津市（自治体）の観光行政に対して望むことを教えてください。

君津市の観光行政に望むこととしては、40件の回答が挙げられ、そのうち、「県外からの（特に東京）観光客、外国人にとっては交通手段が限られるためそれを改善するような取組」、「交通アクセス、道路整備を望む」等の“道路整備、交通アクセスの改善”が6件と多くなっている。

また、「コーディネーター等を招き、メディアを上手に活用すべきだと思う」等の“観光関連PRの強化”が4件、「観光パンフレットや案内を充実させてほしい」等の“観光情報の充実”が4件と、メディアの形式を問わず、情報の発信が求められている。

4) 君津市の観光へのご意見

問 君津市の観光についてのご意見を自由にお聞かせ下さい。

君津市の観光へのご意見としては、31件が挙げられ、様々な意見が寄せられている。そのうち最も多い回答は3件ずつで、「連帯して観光できればもっと集客できると思う」等の“他団体・事業者との連携”、「デマンドタクシーなどを紹介するが、利用できないことが多いのもっと気軽に利用できるように検討してほしい」等の“交通アクセスの改善”、「“人が来れば良い”だけでなく、公園の管理費用（木道の整備等）も増加すると思います。税金の使い道も考える必要があると思います」等の“観光客増加に伴う影響への対応の必要性”、「山間部、山ビルなどでハイキングができない」等の“害虫・害獣などの対策”である。

また、「高齢者向けの観光地づくり（交通手段、宿泊、見どころのパック）」、「東京オリンピックに向けて「和のおもてなし」甲冑や着物を着て写真を撮り、雨城楊枝を使って野だて³等やってほしいと思います」等の“君津市の観光振興のためのアイデア”も具体的に多数挙げられている。

³ 野外での茶会のこと